

戸山幼稚園

実施報告書（研修）

令和5年度教育水準向上支援事業費補助金に係る申請書類

戸山幼稚園

2023年11月6日

<ねらい>

- ・経験年数に関わらず、同じ視点で園の保育理念について考え、遵守するための知識を付けることで戸山幼稚園の保育の質を維持、向上していく。
- ・時代が変化していく中で、ニーズに応えつつも園の理念を大切に守り抜くための保育を見極められる力を培っていく。

<幼少研 3～5 歳児連続講座>

- ・各クラス担任と、それらのサポートをする主任が自身の関わる年齢に応じた研修を年間を通して履修した。
- ・子どもたちの発達特性を理解し、自クラスにおいての保育を見直す機会として活用することができた。
- ・様々な遊びや保育室の環境を、他園の保育者と共有することで、保育者の知識やアイデアを増やし、園に還元するように心がけた。
- ・各学年のこと、として捉えるのみならず、園に持ち帰り、職員間で共有することで、長期的な保育者としての資質を向上させていけるように取り組んでいる。

<「気になる子」への保育の勉強会>

- ・在籍の児童の中には、現在集団生活を苦手とする子や、衝動性多動性のある子、こだわりが強く他者との関わりが難しい子など様々な姿がある。園生活を送るにあたっては、加配が必要であったり、危険行動を防ぐために目が離せない場面も多かったりするが、療育的支援を受けていない家庭が多い現状であるため、通年での研修が出来るように選択した。
- ・実際に他園の児童の事例などを取り上げながら保育者の実践報告を共有することで、新たな視点で子どもたちと関わる事が出来たり、最適な配慮を探し出すことが出来たり、保育者の安心にも繋がった。
- ・本園の加配児童に関しては、極めてグレーな特性であるため、その都度職員で配慮方法を検討しながら試行錯誤をしている。その検討材料としても同じ研修を受けて取り組むことが出来るのは、子どもたちにとっても良い環境になるのではないかと考えている。
- ・各クラスに、担任の他に補助職員を付けているが、保育者としての実践経験の無い職員もいるため、正職員が研修にて取り入れた知識を共有し、クラスの配慮方法として一貫性を持てるよう心掛けている。
- ・自クラスの子どもたちについて質問が出来る環境があることで、保育者にも見通しが立ち、子どもたちとの良き信頼関係を築くことも出来るようになっていく。

<第 113 回 新幼児教育講座>

- ・レジュメ、レポート報告においては別紙参照
- ・3名が各自興味のある研修を受けることで、意欲的に自身の保育力を現場に還元したり、幼稚園教諭としての働きにプライドを持つことが出来るように願って機会を設けている。
- ・夏休み明けに各自の研修内容を共有し、園で取り入れられることなどを検討していくことで、園として、また職員としての質向上に繋がるように配慮している。